

## 技術者教育プログラム認定のための審査請求に必要な条件（2002 年度版）

JABEE は、国際的に通用する認定基準を定め、それに基づいて我が国の技術者教育プログラムの認定審査を行い、認定の可否を決定しますが、その基本精神は、篩い落としを行うことではなく、認定を希望する個々の技術者教育プログラム（以後「教育プログラム」と呼びます）関係者と協力して、それぞれの教育の質の継続的改善を図ることにより、我が国全体の技術者教育の水準の弛まざる向上を目指すことです。したがって、この基本精神を生かすために、JABEE は、できる限り多くの教育プログラムにできるだけ早く審査請求をして頂くことを希望しています。

しかし一方で、JABEE は 2001 年 6 月にワシントン協定に暫定会員としての加盟が認められましたので、2 年後に正式会員としての加盟を果すためには、2002 年度から教育の質（教育内容の水準と審査認定システム）の国際的整合性にも十分に留意する必要があります。また、認定審査には多くの費用と労力がかかりますので、なるべく認定の可能性がある教育プログラムに認定審査を受けて頂きたいと考えています。

そこで、下記のような審査請求に当たってのチェック項目を作成しました。

申請に当たっては、少なくとも下記の点にご留意下さい。なお、下記(1)、(2)、(3)は、2002 年度だけに適用する暫定措置で、2003 年度以降につきましては後日開示しますが、変更される可能性があります。

- (1) 2002 年度の 4 年次学生に対して、認定を希望する教育プログラムの「学習・教育目標」が少なくとも 3 年次の学期初めに伝えられていますか？

（認定基準 1 の学習・教育目標の設定と公表に関する措置）

- (2) 実質的にほぼ同等の教育を受けた修了生が存在しますか？

（認定基準 5 の学習・教育目標達成度の評価と証明に関する措置）

- (3) 学習・教育目標の達成を証明する証拠は原則として最低 2 年分保存してありますか？

（認定基準 5 の学習・教育目標達成度の評価と証明に関する措置）

JABEE による教育プログラムの認定の可否は、認定基準（特に、基準 1 の枠組み、さらにはその枠組みを超えて設定された学習・教育目標）の達成度で判定されます。したがって、本来ですと、学習・教育目標が公開され、それが 1 年次の学期初めに学生に伝えられ、その学生が 4 年を修了した次の年度でなければ（修了生が存在していないと）、当該教育プログラムの認定審査の請求はできないことになります。しかし、JABEE がスタートしたばかりの現時点では、この条件を満たす教育プログラムは極めて少ないことが予想されます。そこで、とりあえず 2002 年度に対し

て上記の暫定措置をとることにしました。その内容は、上述した二つの意向（“できるだけ早期に認定審査を開始して我が国の教育プログラムの改善を進めること”と“国際的整合性をとること”）を反映したぎりぎりの線を表したものです。

上記(2)で、実質的修了生（認定を希望する教育プログラムと実質的に同等の教育を受け、2001年度に卒業した学生。ここでは、JABEE の認定を受けていない教育プログラムを終えることを卒業、JABEE の認定を受けた教育プログラムを終えることを修了とよび区別しています。）が存在するかどうかは、下記を考慮してご判断下さい。

2002 年度の 4 年生の修了時における学習・教育目標の達成度は、実質的修了生の成績等で証明せざるを得ません。例えば、卒業論文を達成度の証明に利用する場合には、実質的修了生の卒業論文を教育プログラム側で評価して審査員に提示することになります。この卒業研究に必要な教育が、認定希望教育プログラムの教育と同程度で、評価方法も同程度であれば、有効な証拠として採用できます。従って、この場合の教育の同等性は、主にカリキュラムの内容で評価可能です。すなわち、卒業研究に必要な知識・スキルの 70、80%程度以上が教育されているなら、同等と見なせます。なお、認定を受けた年より前（2001 年度以前）の卒業生は認定プログラム修了者とは見なされません。

以下は暫定措置ではありませんが、特にご留意いただきたいことです：

- (4) 学習・教育目標を全ての修了生（修了生がまだ存在しない場合には修了予定者）が達成しているという証拠を示すことができますか？

試験問題と解答、レポート、その他学習・教育目標を達成したという証拠（整理して短時間で審査できるようにして下さい）を示して頂かねばなりません。この場合、試験答案、レポートなどは、全学生のものでなくても、良い例と、合否境界近傍のもので結構です。これは、ワシントン協定に加盟するために必要な条件です。

- (5) 同一教育機関内の他の教育プログラム（認定された、あるいは認定を希望する教育プログラムを含む）と区別ができ、分野がわかる適切な名称の教育プログラム名となっていますか？

認定された教育プログラム名（当然、高等教育機関名、学部名も公表されます）が公表されます。似た教育プログラム名が同一教育機関にありますと、混同して不都合が生じます。また、就職等では分野がわかる方が便利です。「機械デザインプログラム」、「電気電子工学コース」、「ロボット工学科」など、簡潔でわかりやすい名称にして下さい。

(6) 自己点検書の「表 2：点検項目と点検基準」で 1、2 のレベルの項目がありませんか？

1、2 のレベルがあると認定されない可能性が非常に大きくなります。

(7) ワシントン協定加盟審査のための実地審査にご協力いただけますか？

ワシントン協定に加盟するには、加盟国からの実地審査を受けねばなりません。実地審査する教育プログラムは加盟国が指名することになっています。その場合、それに関する旅費等は JABEE が負担しますが、英文資料の準備等にご協力いただかねばなりません。必要な英文資料の項目はわかり次第公表します。